

平成 28 年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

静岡大学動物実験委員会

平成 30 年 3 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>静岡大学動物実験規則（平成 19 年 1 月 17 日規則第 1 号） 動物実験管理体制図</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>基本指針に則した機関内規程が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>静岡大学動物実験規則（平成 19 年 1 月 17 日規則第 1 号） 動物実験委員会委員名簿</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>基本指針に基づき動物実験委員会が適正に置かれている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>静岡大学動物実験規則（平成 19 年 1 月 17 日規則第 1 号）</p> <p>動物実験計画書、動物実験計画変更承認申請書、飼養保管施設設置承認申請書、動物実験室設置承認申請書、施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届、動物実験（終了・中止）報告書の各様式</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>基本指針に基づき動物実験の実施体制が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>静岡大学動物実験規則（平成 19 年 1 月 17 日規則第 1 号）</p> <p>静岡大学遺伝子組換え実験安全管理規則（平成 16 年 6 月 9 日規則第 55 号）</p> <p>静岡大学放射線障害予防規則（平成 13 年 3 月 21 日）</p> <p>静岡大学放射線障害予防規則施行細則（平成 13 年 3 月 30 日）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>各機関内規則に基づき安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼養保管施設設置一覧 各飼養保管施設標準操作手順書、実験動物逸走防止及び逸走時対応マニュアル、静岡大学動物実験委員会緊急時等対応マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針に基づき実験動物の飼養保管体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

なし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験委員会議事要旨 動物実験委員会（メール審議）審議結果通知</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>平成 28 年度は、集合会議を 2 回、メールでの審議を 2 回開催した。動物実験計画の審査、実験室の設置、両生類及び魚類を用いる実験等に関する申合せの制定等の審議を行い、委員会は適正な活動を実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験委員会議事要旨 動物実験委員会（メール審議）審議結果通知 平成 28 年度動物実験計画申請一覧、動物実験計画書、動物実験（終了・中止）報告書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>基本指針に基づき動物実験計画の審査、承認、結果報告は適正に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験計画書 動物実験（終了・中止）報告書 平成 28 年度衛生管理者巡視記録書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>安全管理を要する動物実験は、機関内規則に則って適正に実施され、事故等の問題は生じていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>平成 28 年度実験動物飼養保管状況報告書 各飼養保管施設標準操作手順書、実験動物逸走防止及び逸走時対応マニュアル、静岡大学動物実験委員会緊急時等対応マニュアル</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>標準操作手順書、マニュアル等に基づき、実験動物の飼養保管は適正に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>飼養保管施設設置一覧</p> <p>動物実験室設置承認一覧</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>施設等は、管理者及び実験動物管理者により適正に維持管理されている。毎年、静岡市による視察を受けているが、委員会による定期的な視察は実施しておらず、一部に改善と検討が必要である。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>平成 30 年度中に、委員会による定期的な施設視察について検討する。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>全学向け教育訓練実施記録</p> <p>平成 28 年 4 月 19 日、教職員 4 名・学生 40 名</p> <p>実施項目：安全確保・安全管理に関する事項、関連法令・指針等・本学の定める規則等、動物実験等の実施・方法に関する基本的事項</p> <p>授業における教育実施記録</p> <p>「細胞・発生プログラム学実験」平成 28 年 11 月 29 日及び 12 月 6 日、41 名</p> <p>「生物科学基礎実験」平成 28 年 6 月 17 日、47 名</p> <p>「応用生物化学実験 2」平成 28 年 10 月 24 日、57 名</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>静岡大学動物実験規則に基づく教育訓練はほぼ適正に実施されているが、日本語を解さない留学生に対する適切な教育訓練が行われていない。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>平成 30 年度から留学生に対する教育訓練は、委員会で実施する従来の講義形式の教育訓練と e ラーニングプログラムを併用していくこととなった（平成 29 年度第 1 回委員会にて承認済）。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 平成 27 年度動物実験に関する自己点検・評価報告書（平成 29 年 3 月）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 自己点検・評価は適正に実施され、静岡大学ホームページに公開している。 学外の者による検証は実施されていない。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

平成 28 年度実施状況は別紙 1～3 のとおり。

静岡大学動物実験委員会委員構成

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

所属	専門分野	基本指針区分	本学規則区分
人文社会科学部	哲学・倫理学	③	3 号
理学部	動物生理・行動学	①	1 号
理学部	発生生物学	②	2 号 副委員長
農学部	食品科学	①	1 号 委員長
農学部	総合動物科学	②	2 号
学外	神経科学	③	3 号

■基本指針での区分

- ①動物実験等に関して優れた識見を有する者
- ②実験動物に関して優れた識見を有する者
- ③その他学識経験を有する者

■静岡大学動物実験規則第 6 条での区分

- 第 1 号 動物実験等に関して優れた識見を有する理学部及び農学部から選出された教員
- 第 2 号 実験動物に関して優れた識見を有する理学部及び農学部から選出された教員
- 第 3 号 その他学識経験を有する者で学長が必要と認めた者

平成28年度 動物実験実施における集計表

部局名	動物実験計画書の審査のまとめ		動物実験 責任者数	飼養保管施設 の設置状況 ※	飼養保管施設から独立 した実験室 の設置状況
	承認件数	不承認・ 取り下げ件数			
教育学部	3	0	2	1	2
理学部	9	0	5	2	9
農学部	11	0	6	6	5
その他	0	0	0	0	2
合計	23	0	13	9	18

※静岡大学における主要な飼養保管施設の名称

理学部哺乳動物飼養保管施設

理学部非哺乳動物飼育施設

農学総合棟動物飼育室（マウスA室、マウスB室、ラット室）

農学部鳥類飼育舎

平成28年度に使用された動物種及び動物数

動物種	教育学部	理学部	農学部	合計
マウス	68	1,292	2,656	4,016
ラット	0	76	607	683
ウサギ	0	0	0	0
ニワトリ	0	448	0	448
ウズラ	0	0	230	230
その他	0	40 (セキセイインコ・ジュウシマツ)	0	40
計	68	1,856	3,493	5,417